令和7年度 事業計画について

基本方針

当協会は、観光地域づくり法人として、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら「地域連携DMO」の役割を果たしてまいります。

釧路観光は、希少で特徴ある自然との共生と豊かな食の楽しみに代表されることから、釧路湿原国立公園の自然体験を柱とする「アドベンチャートラベル」ツアーの開発と食文化の魅力に触れる機会を提供する取組みを強化してまいります。

また、釧路川リバーサイド観光拠点化構想事業では、レンタサイクル事業や街中におけるコンテンツの充実を図り、市街地の連泊を促し、観光産業の底上げを目指してまいります。

国内観光客誘致推進事業では、首都圏・関西・中部の旅行会社商談会・旅行博等へ参加し、釧路地域の魅力発信と商品企画を提案します。長期滞在者の誘致に向けて、夏の涼しさと冬から春先にかけてスギ・ヒノキ花粉ゼロの快適空間をPRし、くしろ長期滞在ビジネス研究会と連携し、誘客を図ってまいります。

また、今年度より、釧路管内の行政・観光団体が構成する「くしろサイクルツーリズム推進協議会」の事務局として、釧路管内を周遊するサイクルツーリズムを推進してまいります。

海外観光客誘致推進事業では、釧路の認知度アップを図るため、海外メディア招請事業を実施し、情報発信の強化を図ってまいります。また、ひがし北海道自然美への道DMO・くしろ広域観光誘致推進協議会と連動し、旅行会社セールス・招請事業等に取り組んでまいります。

今年度、クルーズ客船の入港が11隻14回予定されていることから、釧路を訪れた外国人観光客に対する街中観光の満足度を高めるため、ガイドコースの造成と英語により街中案内を行なうガイドを育成し、受入体制の強化を図ってまいります。

第三期水のカムイ観光圏事業では、釧路市・弟子屈エリアの雄大で多様な自然、その自然と共生してきた歴史文化を体感していただく、ブランドコンセプト「水のカムイと出会う旅へ」の滞在プログラムを造成・販売し、国内外から2泊3日以上滞在観光の推進を図り、世界の旅行者から選ばれる観光地域づくりを目指してまいります。

また、新たに配置される地域プロジェクトマネージャーとの連携により、インバウンド誘致推進体制の一層の強化を図ってまいります。

以上の方針を踏まえ、引き続き会員各位のご支援ご協力をいただきながら、更なる観光振興の推進に向け、各事業に取り組んでまいります。

各事業項目

1. 釧路川リバーサイド観光拠点化構想事業

(1) 観光コンシェルジュ

ア 釧路市観光国際交流センター内に常設

- ・観光ワンストップ窓口として市及び周辺町村のアウトドア・観光情報発信
- ・着地型旅行商品等の紹介・手配
- ・観光圏及び当協会WEBによる着地型旅行商品販売
- ・観光コーディネート機能

イ レンタサイクル事業

(2) 地域資源の磨き上げによる新たなコンテンツ・旅行商品の開発・販売

- ・体験コンテンツ
- ・周遊観光コンテンツ
- ・アドベンチャートラベルコンテンツ

(3) 地域ネットワーク形成に係る観光事業者・関連団体等との連携調整

2. 観光客誘致推進事業

(1) 国内観光客誘致推進事業

ア 旅行会社プロモーション

- ・道内外旅行会社への観光素材プロモーション及び商談会参加

イ 教育旅行誘致事業

- ・学校・旅行会社へのプロモーション及び商談会参加
- ・体験ガイドブック「釧路修学旅行ガイド」作成

ウ 長期滞在誘客事業

- ・くしろ長期滞在ビジネス研究会参画
- ・旅行商品説明会参加

エ 高速道路・道東道開通PR事業への参加

- ・ウェルカム道東道！！オールくしろ魅力発信協議会との連携

オ サイクルツーリズム事業への参加

- ・くしろサイクルツーリズム推進協議会
- ・くしろロコサイクルプロジェクト

(2) 海外観光客誘致推進事業

ア 国内開催海外旅行会社商談会等参加

イ 海外セールス・プロモーション

ウ アドベンチャートラベル（AT）推進基盤事業

エ 海外メディア招請事業

オ 英語街中ガイド人材育成事業

カ 関係団体との連携

- ・プロモーション、事業参加協力

3. 観光圏事業「水のカムイ観光圏」～釧路湿原・阿寒・摩周～

- (1) 滞在コンテンツ造成事業
 - ・「水のカムイと出会える旅へ」を体感できる滞在コンテンツ造成
- (2) 移動利便性の向上
 - ・阿寒エリアー摩周エリア間の交通アクセス整備
- (3) プロモーション事業
 - ・モンベルフレンドフェア（横浜）出展
 - ・欧米豪向けSNS情報発信
- (4) ポータルサイト維持管理
 - ・ホームページ予約サイト維持管理
- (5) マーケティング調査
- (6) 住民一体となった観光地域づくり推進事業
 - ・セミナー開催
- (7) 全国観光圏推進協議会協力事業
 - ・会議、研修会参加
 - ・人材育成事業

4. MICE誘致推進事業

- (1) 日本コンgress・コンベンションビューロー（JCCB）との連携
- (2) 日本コンベンション協会（JCMA）との連携
- (3) 北海道MICE誘致推進協議会との連携
- (4) MICE商談会参加
- (5) MICEセールス活動
- (6) MICE大会助成制度の運用
- (7) イベント・大会情報提供
- (8) 主要大会記名式歓迎ポスター作成・歓迎のぼり・臨時観光案内ブースの設置
- (9) アフターMICEメニューの整備
- (10) MICEパンフ作成

5. 観光宣伝事業

- (1) マスコミ等による観光宣伝・取材協力
- (2) 観光交流都市との友好交流の推進
 - ・岡山市との相互交流事業
- (3) ホームページ・Facebookによる情報発信
- (4) 観光パンフレット作成・配布
 - ・くしろガイドマップ「表情多彩」
 - ・外国語表記ガイドマップ（英・繁体字・簡体字・ハングル）
 - ・釧路湿原てくてくMAP

6. 観光団体等連携推進事業

(1) 観光振興推進事業

ア 観光事業機関及び団体との連携

- ・日本観光振興協会、北海道観光機構、釧路観光連盟、くしろ広域観光誘致推進協議会、ひがし北海道自然美への道DMO等との連携

イ 観光情報の収集及び提供

- ・日本観光振興協会観光情報発信事業への参加
- ・北海道観光機構観光情報発信事業への参加
- ・観光情報の収集及び発信

ウ 観光イベント事業の推進

- ・釧路大漁どんぱく
- ・各種イベントの共催及び協賛
くしろチューリップ&花フェア、くしろ霧フェスティバル、くしろ港まつり
釧路新花火大会、くしろ市民北海盆踊り、くしろ冬まつり

(2) 受入体制整備推進事業

ア 接遇対応セミナー

イ 観光案内所・観光コンシェルジュの運営

- ・JR釧路駅構内、釧路市観光国際交流センター内

ウ 観光施設等の美化事業参加

7. 財政基盤・受託管理事業

(1) 協会組織の強化

ア 新規会員の加入促進

イ 機関紙の発行（年1回）

ウ 会員向けメールマガジンの発行（年1回）

(2) 財政基盤の確立

ア 自主財源の確保

- ・釧路市湿原展望台レストハウス「憩っと」及びミュージアムショップの運営
- ・物品販売事業
- ・観光望遠鏡、自動販売機等施設の活用
- ・旅行商品の販売
- ・レンタサイクルの運営

(3) 釧路市指定管理施設の受託管理

ア 釧路市観光国際交流センター及び幸町緑地

イ 釧路市湿原展望台